

元議会スタッフが明らかにする
議会を動かす最良の方法



INDIVISIBLE:

A PRACTICAL GUIDE *for*
RESISTING THE TRUMP AGENDA

インディビジブル：トランプ政策に抵抗するための実践ガイド

インディビジブル・チームからのメッセージ

本ガイドブックが、グーグルドキュメントの形で公開されてから、トランプ政策に抵抗するために奮闘されている全国の方々からのメッセージが、まるで洪水のように届きました。私達は、この新しい社会的な動きのエネルギーと情熱を目の前にして、非常にワクワクすると共に、謙虚な気持ちにもなっています。皆さんからのさまざまなフィードバックを活かして、今後、できる限り早くこのガイドブックを更新し、インタラクティブな形にしていく予定です。更新版を入手するために、www.IndivisibleGuide.com にサインアップして下さい。

本ガイドブックおよび関連サイトの制作は、仕事以外の自由時間におこなわれたものであり、それぞれの職場からのサポートや関与は一切なく、すべてボランティアの方々によって行われたものです。それは、トランプ政策に抵抗していくために各地の地元で頑張っている、本物のリーダー達を支援することを、唯一の目的としています。私達は、地元で奮闘するリーダーであるあなた達に、本ガイドブックを利用してほしいと思います。

もし、みなさん独自のご経験や、疑問・コメント、さらにアドバイスなどがあれば、遠慮なくツイートしていただくか (@IndivisibleTeam, @exralevin, @angelrafpadilla, @texpat, @Leahgreenb)、もしくは、contact@indivisibleguide.com にメールをお送りください。

そして、本ガイドブックを、是非とも拡散して下さい！それは、このガイドブックをまず知ってもらうことで、次につながっていくと考えているからです。

皆さん方のご成功を祈念しています。そして私達は、勝利を手に入れましょう！



移民および市民権を持たない方々へ

米国憲法は、国内に居住する全ての人々が、収入、人種、民族、性別、性的嗜好、年齢の違いにかかわらず、また移民か否かにかかわらず、同等な権利を持つことを保証しています。市民権を持たない人は、国政レベルでの選挙権はありませんが、連邦議会議員（日本の国会議員に相当）を通して、自分達の声を連邦議会に反映させる権利を有しています。

本ガイドブックは、民主的なプロセスにおいて、より効果的な形で参加したいと考える人々のためのものです。私達は、市民権を持たない人達も出来る範囲で政治に参加することを奨励しています。また同時に、市民ではない方々も、自分達の置かれた特殊な状況をしっかり理解し、精神的に無理のない形でも行動すべきであると考えています。

連邦議会議員やそのスタッフに対して、皆さん方の個人情報を提示する義務は全くありません。名前と郵便番号を聞かれる場合がありますが、これは、あなたが選挙区民であることを確認するためだけであるべきで、これらの情報提供はあくまでも任意的なものです。住所、社会保険番号、移民かどうか、などの情報を提供する義務は、**誰にも課されていないのです。**

IndivisibleGuide_2017-03-09_v10.docx として 2017 年 3 月 9 日に更新。



Indivisible: A Practical Guide for Resisting the Trump Agenda は Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International License の元で認可されています。この認可については、<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/4.0/> をご覧下さい。

インディビジブル・ガイド制作者名リスト（一部のみ）：

Angel Padilla, Billy Fleming, Caroline Kavit, Emily Phelps, Ezra Levin, Gonzalo Martinez de Vedia, Indivar Dutta-Gupta, Jennay Ghowrwal, Jeremy Haile, Leah Greenberg, Mary Humphreys, Matt Traldi, Sara Clough, Sarah Dohl.

ドナルド・トランプは、これまでの大統領選史上、獲得投票者数で言えば、最大の敗者といえます。つまり本当の意味での国民からの信任を得ていないのです。それにもかかわらず、トランプは、所属政党の共和党が議会で多数を占めていることを利用して、アメリカ合衆国を、人種差別的でかつ権威主義的で、そして腐敗に満ちた国、まさに彼のイメージそのものの国に、変えようとしているのです。そのような状況を止めるには、進歩派である私達が、分断されることなく立ち上がり、トランプとトランプによる政策を支持する連邦議会議員達に反対しなければならないのです。**分断されず一緒にすることで、私達は、抵抗しそして勝利につながる力を持っているのです。**

何故そのように考えるか。私達は、既にそれを見てきたからです。本ガイドブックの制作者は、議会のスタッフとして働いた経験があり、その際、ティーパーティー（茶会）の台頭を目撃しました。

オバマ大統領は当時、国民から変革（チェンジ）への信任を受け、多数派の議会で支えられ、高い支持率を持っていました。しかし、ティーパーティー運動を進めた方々は、そのオバマ大統領に戦いを挑んだのです。彼らは、各地の地元でグループをつくり、地元の連邦議会議員を説得し、オバマ大統領の政策を阻止したのです。彼らの考え方は間違っていました。冷酷であり人種差別的なものでした。だが、彼らは勝利したのです。

私達は、自分が有する価値と、隣人や自分達自身を守っていくためには、ティーパーティー運動家と同様の抵抗行動（でもそれは、彼らの活動とは異なり、寛大で、寛容で公平な価値の上に立脚した抵抗行動です）を、トランプ政策に対してしていかなければならない、と確信しています。

トランプは、高い支持率を得ていませんし、国民からの信任を得ていません。議会内での優勢度もそれほどのもではありません。ティーパーティーは、少数派によるものですが、オバマ大統領を阻止することが出来たのです。それは、私達は、アメリカ国民の中では多数派なのですから、ちっぽけな暴君にすぎないトランプのやっていることをストップすることは可能だ、ということなのです。

その目的を達成できるように、人々、そのグループ、そして組織が、成功したティーパーティーの経験を参考にし、議会が小さいながらも能弁で、献身的な選挙区民グループの声に耳を傾けるようにするためのステップ・バイ・ステップの方法を、こちらから紹介していきます。この方法は、民主党議員にやる気を奮い立たせると共に、トランプ派共和党議員の意思を挫くことの両面において、有効であるように考えたものです。

これからの4年間は、米国民が、国内各地で分断されずに立ち上がり、トランプ政策に抵抗できるかにかかっているのです。トランプの虚偽の約束を信じたり、一部で妥協をしたりしてしまったり、トランプは私達と私達の隣人たちをさらに欺こうとすでしょう。私達と同じように考える人々が、本ガイドブックを読んで、便利な道具を身に付けて、議会に声を届けてくれれば、と願っています。

誰による、誰のためのガイドブック？

私達は、元議会スタッフで、進歩派です。そして、ティーパーティーがオバマ政策を押し返す様を目撃した者でもあります。

私達は、トランプ政策に戦いを挑むぞという熱気を感じ、その戦いとして議会を動かすために、皆さん方とインサイダー情報を共有して、議会を最も有効に動かしたいと思っている者です。

あなた達は、トランプ政策を押し返すために何かしなければと思っている方々です。しかも、それには、陳情電話をしたり、陳情書にサインしたりするだけでは不十分だ、と感じている方々です。

あなた達が、本ガイドブックを利用したり、他の人にも紹介したりしてください。そして改訂して、自分自身のモノにして、そして、行動を始めてください。

以下は、本ガイドブックの簡単なサマリーです。このページにはガイドブックの要点が書かれています。実際にどのように行動すべきかの詳しい説明は、残りのページを見て下さい。

第1章

オバマ大統領の政策阻止のために草の根活動家がしたことは何か。ティーパーティーの成功を分析しました。そこからの教訓は、次の2つの主要な戦略的方針です：

1. それぞれの国会議員を対象にして、議員の地元で行動すること。
2. 抵抗の対象は、人種差別、独裁主義そして腐敗汚職を増長するような政策を実現しようとするトランプの政策に限定するという、防御的な「守りの姿勢」に徹すること。

第2章

連邦議会議員達は「再選、再選、再選」を常に考えている。それを利用して、民主主義を救う方法。連邦議会議員（日本の国会議員に相当）達は、自分達の選挙区民に良く思われたいのです。そしてそのためには、地元メディアに好意的に取り上げてもらいたいのです。同時に彼らは、想定外の事態に遭遇したり、時間を無駄にしたりすることが大嫌いです。中でも、メディアに登場する自分が「弱々しい人」「嫌な奴」「すきだらけ」に見られることを最も恐れているのです。ですから、議員達のこうした習性を利用して、あなた達の声を彼らに届け、彼らに動いてもらうのです。

第3章

地元グループを探し、あるいは立ち上げる。あなたの地元で、あなたが参加できるような既存のグループかネットワークが、既にありますか？それとも、それがなくて、自分自身がそのようなグループを立ち上げなければなりませんか？本ガイドブックは、あなたが地元仲間を結集し、実際の活動をおこなうためのやり方を提案しています。

第4章

4つの実効的な地元での活動作戦。あなたの地元には3人の連邦議会議員（上院議員2名、下院議員1名）がいます。あなたが彼らを好きかどうかにかかわらず、彼らこそが首都ワシントン DC（つまり連邦議会、日本では国会に相当します）におけるあなたの声の代弁者であり、あなたの声なのです。あなたのやるべきことは、彼らに、あなたを代表して、あなたの考えを喋ってもらうことです。そこで私達は、たとえ地元選挙区で少数意見の者であっても連邦議会議員に対して、大きな効果が得るためにどう接したらいいかという方法を、次のように4つ考えました。質問は事前に良く練り、グループメンバーと協力・調整しておき、接触した際にはその様子を必ずビデオ撮影し、その結果を地元のメディアに伝えることを、忘れないようにしてください。

1. **タウンホール・ミーティング（対話集会）**：連邦議会議員は、選挙区で定期的に公開イベントを開催し、「選挙区民の声を聞いている」ということをアピールします。その機会を活用して、彼らにあなたの声を聞いてもらいましょう。もし拒否されたら、そのことをみんなに知らせましょう。
2. **その他の地元公開イベント**：連邦議会議員は、地元での竣工式でテープカットしたり、赤ちゃんにキスしたりする場面を、メディアに取り上げられるようにするのが大好きです。そのような写真撮影の機会をしっかり利用して、彼らに、人種差別や独裁主義、腐敗汚職などに関する質問をぶつけてみましょう。
3. **地元事務所訪問**：連邦議会議員は、地元で少なくとも一つ、もしくはいくつかの事務所があります。そこを訪問してみましょう。そして連邦議会議員との面会を求めてみましょう。もし断られたら、そのことをみんなに知らせましょう。
4. **計画的で集中的な電話作戦**：電話による陳情は、上の3つの活動よりも簡単ですし、十分な効果をあげることもできます。一つの政策問題に絞り、それが注目されるタイミングをうまく狙って、あなたの地元グループメンバーを動員して、連邦議会議員に電話攻勢を試してみればいいのです。